

新しい社会・新しい人間像



上海虹口公安分局の
落し物移動展覧車

にまじったりして、あの
連中は、なんて肝っ玉が
ふといのだろう。それ以
上にふしぎだったのは、
人びとにこんな親切な兵
隊が、世の中にいたのだ
ろうか、ということだっ
た。その時、兵士たちの
中にまじっていた若い青
年が歩いてきて、家の
戸をあけた。「おじいさ
ん、出てきませんか。こ
わがることはありません
んよ。この人たちは、解
放軍なんです……」「な
に？ かいほう軍だつ
て……」青年は、老人の
にまじりながら、おじいさん、おはよう！
握りながら、「おじいさん、おはよう！
わしたちは、解放軍です。中国共産党
に指導される部隊です……」と言った。
自分をへおじいさん、とよんでくれた兵
士の顔を見ながら、費老人は目がしらが
熱くなった。もう七〇にもなろうとして
いるこの老人は、兵隊たちにずっと痛め
つけられてきたのだ。日本帝国主義の侵
略時代は言うまでもないが、抗日戦争が
勝利してからも、国民党の軍隊は、「皇
軍」におとらぬひどいことをした。つい
五日前にも、ちょっとした不注意から、
道で国民党軍の兵隊にぶつかった老人
は、びんたをはりとばされた。だが、こ
の兵隊さんたちは自分を「おじいさん」

解放後の中国では、社会も、人間
も、すっかり生まれかわった、とよ
くいわれる。
社会のどこがかわったのか？
人間がどのようにかわったのか？
こんなにちの中国の新しい世相、新
しい人間像にピントをあわせてみよ
う……

チヤン ユイ チワン
張 玉 泉

数日來の砲声もとだえて、上海は、ひ
っそりと静まりかえっていた。東の空は
白んで、夜明けの近さを思わせた。北四
川路に住んでいる費老人は、ひと月近く
の寝不足の目をこすりながら、おそるお
そる戸を小開きにして、外のようなすをう
かがおうとした。だが、見なぬ方が、ま

だよかつた。外をちよつとのぞいた老人
は、肝をつぶしてしまった。通りは、び
っしり兵士でうまっていたのだ。老人
は、あわててしつかりと戸をしめ、ひど
い災難がふりかかってくるにちがいな
い、と息をのんだ。……三〇分ほどたっ
たが、べつに何ともおこらなかつた。

兵隊たちは、行ってし
まったのだろうか。老人
ながら兄弟のように親しく話しあつてい
た。老人は、ふしぎに思った。兵隊の中

がらりとかわった世の中



駐とん地でおばあさんの水汲みを手伝う解放軍の兵士